

校長式辞

少し冷たさの和らいだ風に、かすかな春の香りを感じる今日のよき日、岡山県古代吉備文化財センター 村木 生久 所長様、大原 利憲 同窓会長様、井藤 公量 P T A 会長様をはじめ、多数の御来賓並びに保護者の皆様の御臨席を賜り、岡山県立岡山操山高等学校第六十六回卒業式を挙行できますことは、まことに大きな喜びであり、感激に耐えないところです。本校教職員、在校生とともに、御臨席の皆様に、厚く御礼申し上げます。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

皆さんは平成二十四年四月に本校に入学され、長い人生の中でもとりわけ貴重な青春の三年間を本校で過ごされました。本校の百五十年に及ぶ伝統を体現する校庭の大樹の陰で、皆さんは学業や学校行事、部活動に勤しみながら心と体を鍛え、本校のビジョンにある「高い志」、「確かな学力」そして「豊かな心」を兼ね備えた青年として成長し、今、人生の新しい門出に立っておられます。

私にとって、卒業生の皆さんについて特に思い出深いのは、やはり松柏祭でのグランド演技ではないでしょうか。限られた時間と空間の中で皆さんは懸命に練習を重ね、松柏祭当日はそれぞれのクラスが、チームワークと躍動感に満ちた素晴らしい演技を繰り広げました。松柏祭終了後も、皆さんは中庭に集まり、全クラスが演技を再度披露し、互いに讃え合い盛り上がっていました。私はその様子を二階の渡り廊下から拝見し、生徒の誰かが勢い余って中庭の池に落ちるのではと心配し、しかし同時に、皆さんが放つ若々しい輝きに、深い感動と少しの妬ましさを覚えていました。皆さんの高校時代は必ずしもすべて順風満帆な日々ばかりではなく、時に苦悩、孤独感あるいは焦燥感という黒雲に覆われることもあったでしょう。しかし、皆さんが放つ青春の輝きは、その黒雲を突き破り、あの松柏祭のグランド演技のように、周囲に眩い光を放っていた様に思います。

卒業生の皆さんは、チャップリンの「独裁者」という映画をご存じですか。この「独裁者」のラストシーンで、チャップリン演ずる主人公は、6分間にわたる有名な演説を行います。その演説の最後で、彼は、理不尽な迫害に嘆き悲しむ恋人に呼びかけます。

Wherever you are, look up Hannah.

The clouds are lifting, the sun is breaking through.

We are coming out of the darkness into the light.

We are coming into a new world.

Look up Hannah !

「君がどこにいようとも、目を上げてごらん、ハンナ！

雲は消え、太陽の光が差し込んできている。

私達は暗闇を抜け出し光の中に入ろうとしている。

私達は新しい世界に足を踏み入れようとしている。

目を上げてごらん、ハンナ！」

Look up ! 目を上げて見てごらん。素敵な言葉です。私も皆さんに呼びかけたいと思います。

Look up ! これまで、皆さんは、もしかすると狭い限られた視野と狭い価値観で自分を評価し、物事を判断していたかもしれません。でも、これからはLook up ! 目を上げ、もっ

と視野を広げ、真の意味での教養を豊かに身に付け、物事の本質を捉えて判断する人間になってください。

Look up！目を上げて、今から皆さんが踏み出そうとしている新しい世界を展望して下さい。これから皆さんは、様々な人々と出会い、自分とは異なる様々な価値観や世界観に出会うでしょう。その時、皆さんは自分はどうのように生きるのかを改めて考え、自分自身の価値観や人生観を再構築して下さい。今日から本当の未来航路に旅立つ皆さんが、自らの航路を自ら考え、判断し、大海原に漕ぎ出されることを期待します。

保護者の皆様、お子様の御卒業、誠におめでとうございます。栄えある卒業の日を迎えられたお子様の姿に、皆様の喜びもひとしおのことと拝察いたします。

「岳」の主人公であり、山岳救助ボランティアの島崎三步と同じように、甚だ僭越ですが、私も皆様に「保護者の皆様も、今日まで本当によく頑張られましたね！」と語り掛けさせていただきたいと思います。我が子を初めて胸に抱かれてから十八年間、お子様のことで楽しい事・嬉しい事も沢山おありであったと思います。同時に、お子様のことで心を碎かれ、あるいは思い悩み不安に駆られることも多々おありではなかったかと拝察します。しかし、保護者の皆様の豊かで細やかな愛情により、お子様はそれぞれ、本当に素直で真摯な人間として成長されました。保護者の皆様の今日までの御努力と頑張りに、私達は心から敬意を表したいと思います。どうか保護者の皆様も、今日の夕べ、お子様に「三年間よく頑張ったね！」とお声を掛けていただければと思います。

また、今日に至るまで本校教育に対して変わらない御支援と御理解をいただきましたことに心から感謝申し上げます。私たち教職員もお子様の成長のために精一杯努力したつもりではありますが、至らないところも多々あったかと思えます。どうか御容赦くださり、お子様の成長した姿を喜ぶ、その喜びに私たち教職員も共にあずかせていただければと存じます。

最後に、御臨席を賜りました御来賓の皆様、および保護者の皆様に改めて感謝申し上げますとともに、これからも卒業生の皆さんのさらなる成長を温かく見守っていただきますよう心からお願い申し上げます、式辞といたします。

平成二十七年三月二日

岡山県立岡山操山高等学校

校長 松 沢 克 彦